

アンケートの集計【野中信行先生のセミナー】

平成 23 年 5 月 14 日

○ セミナーはどうだったか。

よかった・・・・・・・・・・(92名)

まあまあよかった・・・(19名)

あまり良くなかった・・(0名)

良くなかった・・・・・・・・(0名)

○ セミナーの感想

<全体のまとめ>

どの参加者にも分かりやすく、講演テーマの即した講演で明日からの授業に日常授業を前向きに取り組もうという意見がたくさんあった。また、実践のあった音読指導において、提案された指導法については、「取り入れて国語の指導をしたい」、「授業を見直すきっかけとなった」と多くの方が取り組む意欲が感じられた。また、多くの方が国語指導への不安や悩みを持ってみえることも伺えた。

運営面（項目7）については、途中休憩の10分休憩が必要ないのではというご意見もあった。後半部分の授業実践についてもっとお話を伺いたかったという意見も多かったため、参加者は、具体的な実践例を求められていると感じた。

1. 関心・意欲面

- ・明日の授業がとても楽しみになった。
- ・明後日から1つでも多く実践したい。
- ・経験の少ない私にも取り入れやすいもので、実践したいと思った。
- ・普段の授業をどれだけ大切にできるか自身はないが、これから頑張ってみたい。
- ・今日の講演のを中心に、日々子どもたちのために授業をつくっていききたい。
- ・毎回、授業を作るときに、常に意識していくことを忘れずに取り組んでいきたい。
- ・いろいろな実践をみて、自分の力をさらにアップしていきたい時期です。
- ・基礎基本を意識して、日常授業の向上に努めていきたい。
- ・様々な手段や引き出しをもって、授業を組み立てていけるように努力したい。
- ・授業に具体的なイメージがわき、生徒役になってみた気持ちなど、より深めることができた。
- ・研究授業は、仕事だからやっているという考えを、改めて変えてもらいました。
- ・日常授業を改革してみようというやる気がわいてきた。
- ・とても分かりやすく、明日からの国語の授業で実践しようと思う。
- ・1年の初めに先生のお話が聞けてよかった。
- ・具体的なことを教えて頂けたのでよかった。国語は特に困っていたので助かった。
- ・自分なりに工夫し、しっかり教材研究をして、生かしていきたい。
- ・多くの先生方に知らせたい。

- ・ 普段の授業に力をいれて、味噌汁・ご飯の授業をがんばりたい。
- ・ 70点でいいというのは、少し気持ちが楽になった。反対に70点は最低でもとらないといけないということだと思い、気持ちを引き締めた。

2. 味噌汁・ご飯の授業について

- ・ 教師の「味噌汁・ご飯」の授業は、いくつもの飽きさせない技が必要なのだと感じた。
- ・ 普段の授業を向上させるために大切なポイントを教えて頂いた。
- ・ 日常授業を充実させる工夫をしていきたい。
- ・ 日常授業が充実できるよう頑張りたい。
- ・ 日常の授業の改善の仕方が良く分かって勉強になった。
- ・ 短い時間での教材研究のやり方を教えて頂いたので、気持ちが楽になった。
- ・ 日常のレベルアップは、活動のほかに指導目標を意識させたい。
- ・ 明確な間違いはその場で正すべきと思う。
- ・ いい授業をしたいと背伸びするばかり、日常の授業がから回りしているような気がして反省している。足元を固め直そうと思った。
- ・ 授業づくりの基礎が分かった。
- ・ 1時間の授業でやるべき内容が分かった。
- ・ 日常授業を傍観者作らない授業にしていきたいです。
- ・ 学校訪問のために、「どうしていつもとは雰囲気の違った授業をするのか？」という思いを持っていて、先生も同じ考えでとても共感した。
- ・ 「1度の100点満点の授業よりも、毎日の70点の授業が大切」という言葉が心に響いた。
- ・ 「日常授業」の大切さを改めて教えて頂いた。
- ・ 70点の授業ができるよう、10割の準備をして、授業にのぞみたい。
- ・ 日常の授業が70点でよいという言葉に安心感を持った。
- ・ 日常の授業が70点でよいということが、目からうろこだった。
- ・ 日常の授業を大切にすることが重要であり、70点でよいということに安心しました。
- ・ 今まではいつもごちそうを目指していた自分に気づいた。
- ・ 70点満点の授業でいいというお話が印象的だった。
- ・ 日常授業をある程度パターン化すると、教師も子どももすんなり入っていける。
- ・ 日常授業の改善のために、誰にでもできそうなことを教えて頂いた。
- ・ 普段の自分の授業が生徒にどれくらい理解していつのかも不安だった。日常の授業の内容の濃さばかりに気をとられ、基本を確実におさえていくことをおろそかにしていた。
- ・ 日常授業を第一にと思った。
- ・ 普段の授業が大切だと言われていますが、具体的にどうするのが曖昧になっていた。細かな約束が、その後の学習に大きな差をつけるのだと改めて感じた。
- ・ 野中先生の授業に対する考え方が良く分かった。今まで振り返ると、研究授業はやらなくてはならないもの。普段の授業は先生がおっしゃられたように、流れていた。
- ・ 普段の授業を少し工夫するだけで、よりよい授業になり、学級づくりにもつながってくるのではな

いかと思った。

- ・ 普段着の授業の改革、確かにその通りであると納得した。
現場では、現職教育の視点で共通理解をはかることが大切であると思った。
- ・ 決して手抜きをするのではなく、いかに短時間で指導のポイントを明確にした授業をするのかという大切さを再確認した。
- ・ 日常の授業こそ自分が改善していかなければならないので、日ごろの授業をしっかりと組み立てを考
えていきたい。

3. 授業のルールやノート指導について

- ・ 授業の基礎・基本の確認をすることができた。
- ・ 授業で守るべきルールについても自分でおざなりにしていた部分もあるので、月曜日の授業から直したい。
- ・ 授業規律の確立の大切さを改めて感じた。
- ・ 研究授業に「特別」な授業をするのではなく、普段の授業の延長線にある授業ができるようにまず、基礎の徹底、ルール化をはかっていきたい。
- ・ 個別評定の大切さも感じた。日ごろやらせっぱなしにして、反省している。
- ・ 私にとってかまえず、普段の授業に力を入れていくというのは、とても大切なことだなあと思っている。それには、ある程度スタイルをもって、臨むことが大切だと感じた。
- ・ ノート指導について、学校でそろえて研究しているのを聞き、そのような観点で考えたことがなかったのが驚いた。
- ・ ノート指導や単元目標の設定など、要所をおさえていきたい。

4. 音読指導について

- ・ 私は社会科ですが、音読指導は奥が深いと感じた。
- ・ 音読の仕方もこんなにあるのだと勉強になった。
- ・ 音読指導を実感しながら、行えてよかった。
- ・ 読み方について、実践する場があり、聞くだけよりもわかりやすかった。参加してよかった。
あまりやられてはいないと思いますが、社会科の授業の中にも少し音読の要素を取り入れたいと
考えられるようになった。
- ・ 色々と実践できる内容が多かったのが、国語の授業のやり方に困っていたので、音読の仕方は取
り入れたい。
- ・ 5分だけでも工夫すれば、多くの読み方が出来ることがわかった。
- ・ 音読が苦手な子もすきになれるよう、頑張りたい。
- ・ 音読の工夫の仕方が分かった。
- ・ 音読練習を実際に体験してみて、児童に指導するときに、うっかり自分が見落としてしまいがちな
ことにも気付くことができたように思った。
- ・ 初任者なので、先生が話される初任者の特徴に耳が痛くなりました。音読指導早速実践してみたい
と思います。

- ・音読の様々な方法を知ることができた。
 - ・漢字・音読など、基本となる活動を毎回の授業に取り入れて、子どもたちの学力を定着させていける授業づくりに努めたい。
 - ・音読指導を軽視していたところがあったが、セミナーに参加して、意識が変わった。
 - ・音読発表会を以前にはじめて授業でしたが、だらだらと練習に時間がかかった。
- ▼音読については、原理・原則の指導が不十分ではないかと感じた。強弱については、例示不足ではないでしょうか。

5. 感想

- ・とても分かりやすく良かった。勉強になった。
- ・明快でわかりやすい講演でよかった。
- ・前半の話がよかった。
- ・先生の優しい人柄と授業を大切にする気持ちがとても伝わってくる楽しい時間だった。
- ・多くの先生方が学びに来ていることがわかった。
- ・先生の本を読んで勉強したい。
- ・先生の「青い本」を購入したが、また何度も読んでみようと思う。
- ・「わかりやすい」ということは、初任者であれベテランであれ、とても大切なことだと思う。
- ・特に初任者、3、4年未満の先生には、今回の講演はすごくよかった。
- ・初任者にもわかりやすい丁寧な内容だった。
- ・指示が長かったり、説明が長かったりすることを反省した。
- ・野中先生の本を一年目に買って、とてもよかった。
- ・実際の授業の雰囲気を感じ取ることが少しできてよかった。
- ・2時間参考になるお話ばかりでした。
- ・自分の持っている力の60~70%くらいを出して、頑張っていこうと思う。
- ・味噌汁ご飯というわかりやすいネーミングでイメージしやすく勉強になりました。
- ・授業の基礎基本を大学では教えてもらっていない。現場の先輩がきちんと伝えていくことが大切だと思った。
- ・教科は違ったけれど、どの授業にも取り入れられそうな内容で参考になった。
- ・普段の授業を考える機会になった。
- ・初心者目線の講義で、参考になることが多かった。
- ・ユーモアのある語り口と聞きやすいリズムで、わかりやすい時間になった。
- ・今後も先生の研究提案を参考にしていきたい。
- ・TOSSの講師の話聞きたいのですが、TOSSの方針でこういうセミナーはないようなので、野中先生のようにTOSSではないが、フレキシブルに動ける人の話を聞けるこのセミナーはとてもよい。
- ・普通の教師としてという視点から考えられており、とても分かりやすかった。

6. その他

- ・頭の中にある知識（自分にとっては当たり前のこと）を軽視していたことに気づいた。
学級づくりから再度考えて、日々の学校生活に活かしていきたい。
 - ・研究担当として、日常授業がわかる授業になるよう、授業づくりを進めようと校内研修計画を立てた。それでも、研究授業はするわけですが、あくまでも日常の延長ということですが・・・。
実は計画をたてるのに、「授業づくり」という言葉で検索してヒットした HP から、ここへの参加に至った。4月に2校が統合し、その6年生を担当していますが、「崩壊」を招きそうな状況で、先生の著書（ピンク）を勝手、今日は電車内で読みながらきた。偶然、先生と名前が同じで、来週からの活力ももらえたらと参加した。
 - ・朝の会ががやがやして落ち着きのないクラスになっていたの、実践を見てやっていきたい。
 - ・教師になり、まだ1ヶ月半です。私自身中学校で社会を教えています、中学校の授業づくりにも通じる部分が多くあると感じた。
 - ・当たり前のことでも、今までやっていなかった点、できていなかった点を、今回の講演を聞いて再確認できた。
 - ・特別支援をやっていると、一時一事の指示は大切なことだと実感している。これからも心がけたい。
 - ・教師2年目である。悩んでいた普段の授業のことで、個別評定や授業のルールづくりが聞けてよかった。
 - ・工夫した授業形態が学べた。
- ▼前半部分を短くして、後半を長くしてはどうか。
- ▼前ふりを少しだけ減らして、もっと「味噌汁・ご飯」の授業の中身について聞きたかった。
- ▼後半の音読指導は、授業をしている場面をビデオで紹介して頂くなどの方がわかりやすかった。

7. もっと聞きたかったこと

- ・もう少し具体的な所を聞きたい所があった。
- ・次は物語の展開の仕方を知りたい。
- ・学級経営の話聞いてみたい。(2名)
- ・発達障害の児童への対応(学校として)
- ・普段授業でのいくつかの飽きさせない技のスキルアップには、何を読めばよいのか、どういう経験を積めばよいのかも教えて頂きたい。
- ・今後も明日から使えるネタが豊富なお話を伺いたい。

8. 運営に関わることについて

- ・素敵な講師ばかりよんでくださるのでうれしい。
 - ・DVDの貸し出しがあるのはうれしかった。
 - ・参加型のセミナーでよかった。
- ▼10分間の休憩は講師のためにとっているのか。それならば必要かもしれないが、参加者にはその必要が感じられない。

9. このセミナーで話を聞いてみたい講師

長瀬 拓也先生	土作 彰 先生	志水 廣 先生
杉渕 鉄良先生	大前 暁政先生	深谷 圭助先生 (2名)
河田 孝文先生	岩瀬 直樹先生	赤坂 真二先生
下山 真二先生	堀田 達也先生	上條 晴夫先生
陰山 英男先生	土作 彰先生	
二瓶 弘行先生		